

沖縄県指定与那覇岳鳥獣保護区
与那覇岳特別保護地区

指定計画書（案）

平成 27 年 月 日

沖縄県

1 特別保護地区の概要

(1) 特別保護地区の名称

与那覇岳特別保護地区

(2) 特別保護地区の区域

沖縄県国頭郡国頭村所在民有林9林班い2、い3、ろ1、ろ2及びろ3の各小班、10林班に2小班、11林班い10及びろ1の各小班並びに12林班い2、ろ1及びは1の各小班的区域

(3) 特別保護地区の存続期間

平成27年11月1日から平成47年10月31日まで(20年間)

(4) 特別保護地区の指定区分

希少鳥獣生息地の保護区

(5) 特別保護地区の指定目的

与那覇岳鳥獣保護区は、沖縄県国頭郡国頭村字辺土名集落より約3.5kmに位置し、区域内の西側には与那覇岳(標高503m)があり、北側は大国林道、東側は床川、南側は東村との境界に囲まれた区域である。また、区域は概ねイタジイ林となっており、中央部にはリュウキュウマツ、スギ、エゴノキ等の造林がある。

このような自然環境を反映して、国指定特別天然記念物のノグチゲラを始め、国指定天然記念物のヤンバルクイナやホントウアカヒゲなど希少な鳥類が生息している。

当該鳥獣保護区の中でも特に、与那覇岳周辺はノグチゲラ、ホントウアカヒゲ、サンショウクイなどの希少鳥類の繁殖の場として利用されていることから、当該区域を鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第29条第1項に規定する特別保護地区に指定し、当該地区に生息する希少鳥獣の保護を図るものである。

2 特別保護地区の保護に関する指針

(1) 保護管理方針

- 1) 鳥獣のモニタリング調査を通じて、当該区域内の鳥獣の生息状況の把握に努める。
- 2) 鳥獣の生息環境を脅かすような人の不用意な行為を防止するため、現場の巡視、関係地方公共団体、NPO、地域住民等と連携した普及啓発活動等に取り組む。

3 特別保護地区に編入しようとする土地の地目別面積及び水面の面積

総面積 23 ha

内訳

ア 形態別内訳

林 野 23 ha
 農耕地 ー ha
 水 面 ー ha
 その他 ー ha

イ 所有者別内訳

国有地 ー ha

{	国有林	{	林野庁所管	ー ha	{	制限林	ー ha
			他所管	ー ha		普通林	ー ha
				国有林以外の国有地	ー ha		

{	地方公共団体有地	23 ha	{	都道府県有地	ー ha
				市町村有地等	23 ha
			私有地等	ー ha	
			公有水面	ー ha	

ウ 他の法令（条例を含む）による規制区域

自然環境保全法による地域	ー ha		
自然公園法による地域	23 ha	特別保護地区	21 ha
（沖縄海岸国定公園）		特別地域	2 ha
		普通地域	ー ha
文化財保護法による地域	ー ha		

4 指定する区域における鳥獣の生息状況

(1) 当該地域の概要

ア 鳥獣保護区の位置

当該区域は、沖縄県国頭郡国頭村字辺土名集落より約 3.5km に位置し、区域内の西側には与那覇岳（標高 503 m）があり、北側は大国林道、東側は床川、南側は東村との境界に囲まれた区域である。

イ 地形、地質等

当該区域の地形分類は、概ね山地一般斜面であり、一部に山地急斜面、南東部に丘陵地一般斜面がある。

表層土壌は、概ね乾性黄色土壌であり、一部に適潤性黄色土壌が混在する。

表層地質は、概ね嘉陽層砂岩・粘板岩互層（始新世～白亜紀）であり、西部が名護層粘板岩・千枚岩・泥質片岩（始新世～白亜紀）である。

ウ 植物相の概要

当該区域では、概ねリュウキュウアオキースダジイ群落であり、シイ・カシ萌芽林が混在する。また、中央部では、リュウキュウマツ植林、スギ植林、エゴノキ植林、ハンノキ植林があり、一部にチガヤーススキ群落がある。

エ 動物相の概要

与那覇岳鳥獣保護区でこれまで、国指定特別天然記念物のノグチゲラを始め、国指定天然記念物のヤンバルクイナやホントウアカヒゲなど、希少な鳥類が確認されている。またワタセジネズミを始めとする希少なほ乳類も確認されている。

平成 26 年度の現地調査により生息が確認された鳥獣は下記（2）のとおり、鳥類 11 科 18 種であり、哺乳類は 3 科 3 種である。平成 26 年度の現地調査にて確認された鳥獣以外にも、リュウキュウツミ、ヤマシギ、アマミヤマシギ、リュウキュウコノハズク、リュウキュウオオコノハズク、リュウキュウアカショウビン、ホトトギス、リュウキュウツバメ、ヤブサメ、リュウキュウキビタキ、リュウキュウサンコウチョウ、アオジ、オリオオコウモリ、オキナワコキクガシラコウモリ、ヒナコウモリ科の一種、リュウキュウイノシシなどが確認されており、少なくとも鳥類 27 種、ほ乳類 6 種の生息が確認されている。

(2) 生息する鳥獣類 (平成 26 年度調査結果)

ア 鳥類

目	科	種名ないし亜種名	種の指定等
タカ目	タカ科	サシバ	VU
ツル目	クイナ科	<u>ヤンバルクイナ</u>	国天、EN 国内希少
ハト目	ハト科	○キジバト ズアカアオバト <u>カラスバト</u>	国天、VU
キツツキ目	キツツキ科	<u>ノグチゲラ</u> リュウキュウコゲラ	特天、CR 国内希少
スズメ目	サンショウクイ科	リュウキュウサンショウクイ	NT
	ヒヨドリ科	○ヒヨドリ	
	ツグミ科	<u>ホントウアカヒゲ</u> ルリビタキ トラツグミ シロハラ	国天、EN 国内希少
	ウグイス科	○ウグイス	
	シジュウカラ科	シジュウカラ ヤマガラ	
	メジロ科	○メジロ	
	カラス科	○ハシブトガラス	
合計	5 目	11 科	18 種

イ 哺乳類

目	科	種名	種の指定等
モグラ目	トガリネズミ科	ワタセジネズミ	NT
コウモリ目	ヒナコウモリ科	ヒナコウモリの一つ	
ウシ目	イノシシ科	リュウキュウイノシシ	
合計	3 目	3 科	3 種

(注)

- 鳥獣の目・科・種 (和名) 及び配列は、日本野生鳥獣目録 (2002 年 7 月、環境省自然環境局野生生物課) に拠った。
- 種の指定等の要件は次のとおりである。
国天：国指定天然記念物 特天：国指定特別天然記念物
レッドリスト (平成 24 年環境省) (ア鳥類)

レッドリスト（平成 24 年環境省）（イ哺乳類）

CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類、VU：絶滅危惧 II 類

NT：準絶滅危惧、DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群

国内希少：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国内希少種

国際希少：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国際希少種

特定外来：特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律による特定外来生物

- 3 ○印は一般的に見られる鳥獣。アンダーラインは鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第 7 条第 6 項第 1 号により特に保護を図る必要があるものとして環境省令で定める鳥獣及び天然記念物に指定された鳥獣。

(3) 当該地域の農林水産物の被害状況

なし

- 5 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第 32 条の規定による補償に関する事項

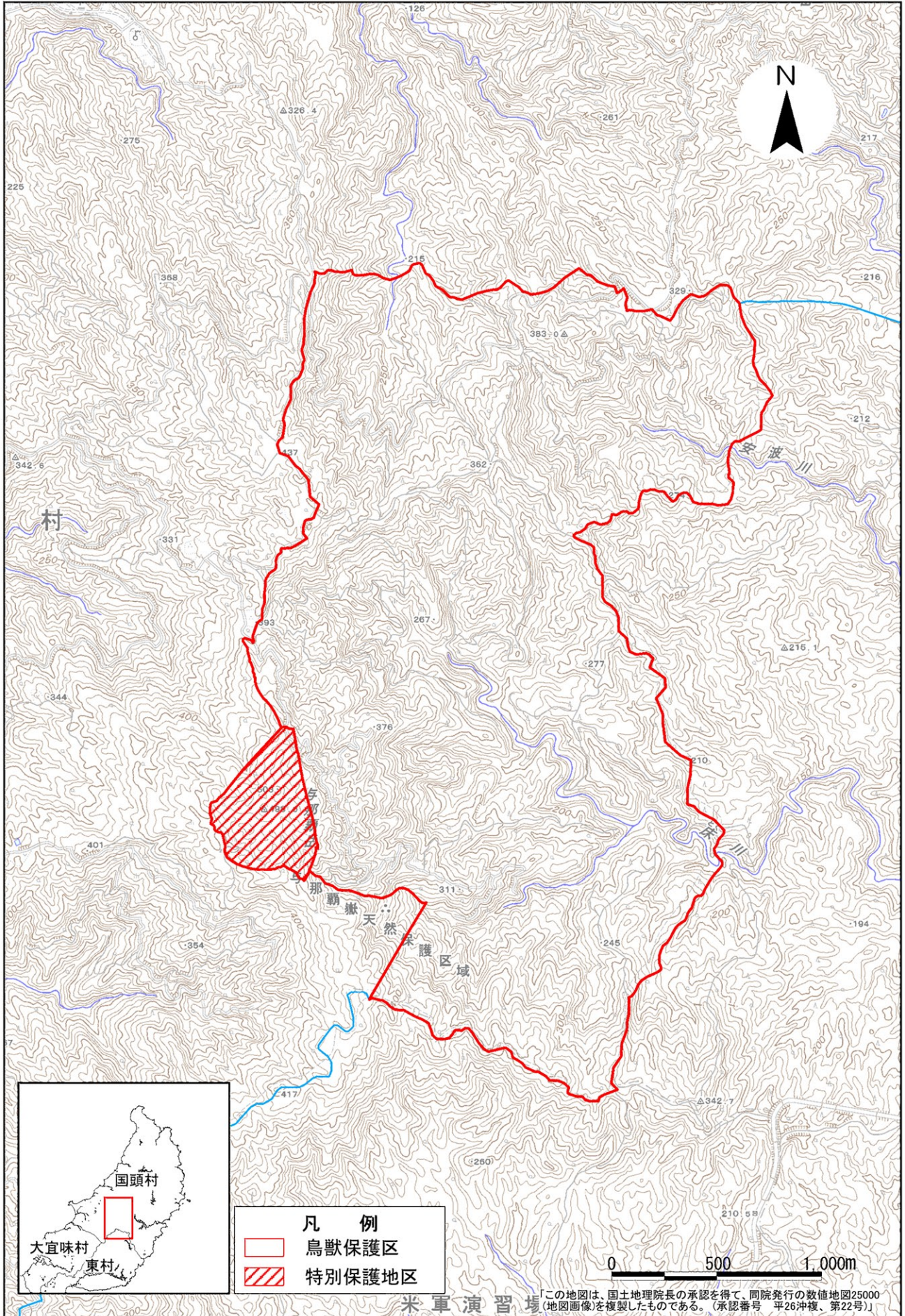
当該区域において、鳥獣の生息及び繁殖に必要な施設を設置することにより損失を受けた者に対しては、通常生ずべき損失の補償をする。

- 6 鳥獣保護区の維持管理に関する事項

①鳥獣保護区制札（特別保護地区）

2 本

沖縄県指定 与那覇岳鳥獣保護区及び同特別保護地区区域図



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000 (地図画像)を複製したものである。(承認番号 平26沖複、第22号)」

米軍演習場

沖縄県指定与那覇岳特別保護地区区域説明図

